

第4章 中学生アンケート結果概要

第1節 中学生を取り巻く環境

現在の松阪市の中学生を取り巻く環境を把握するために、好きな遊び場や身近な生き物、周辺環境に対する評価や意識について尋ねました。

1. 中学生の遊び場

「どこで遊ぶのが一番好きですか」という問いに対して、「家の中」が最も多く、43.8%を占めました。一方、小学生アンケートでは、同様の問いで「家の中」と答えた小学生は27.0%でした。

「家の中」に次いで「その他」が多く、18.3%となりました。その他の記入欄には、「デパート」「ショッピングセンター」などを挙げた中学生が最も多く、全体としても約10%を占める結果となっています(図1参照)。

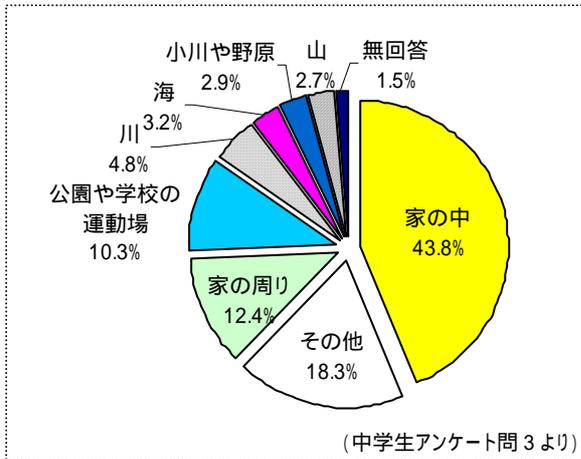


図1 どこで遊ぶのが一番好きですか

また、遊ぶ場所とその頻度の関係を見ると「家の中」で遊ぶのが好きだと答えた中学生の60%近くが、その頻度を「ほとんど毎日」と答えました(図2参照)。同様の問いで「ほとんど毎日」と答えた小学生は70%以上であり、このことから、中学生は小学生に比べ、塾やクラブ活動のために「遊ぶ」ことが少なくなっていると考えられます。

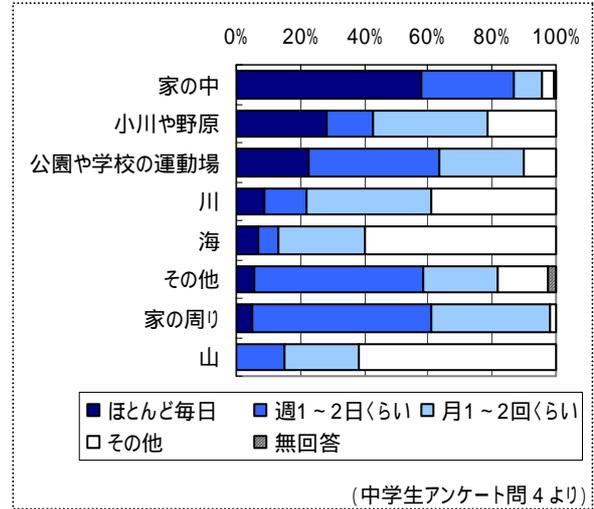


図2 遊ぶ場所とその頻度

2. 身近な生き物

「どのような動物や植物を知っていますか」という問いに対して、「からす」「すずめ」「とんぼ」「かえる」「バッタ」は、どれも80%前後が「身のまわりで見かける」と答えました(図3参照)。

「ほたる」に関しては、「身のまわりで見かける」と答えた中学生が、山間部で45.6%と、海岸部、市街地よりも高い結果となりました。同様に「ザリガニ」「めだか」「ふな」では、海岸部が最も多い結果となりました(図3参照)。

これらの生き物に対する回答は、小学生アンケートと同様の結果がでており、中学生も小学生と同じように、周辺の自然環境に関心を持っていることがわかりました。

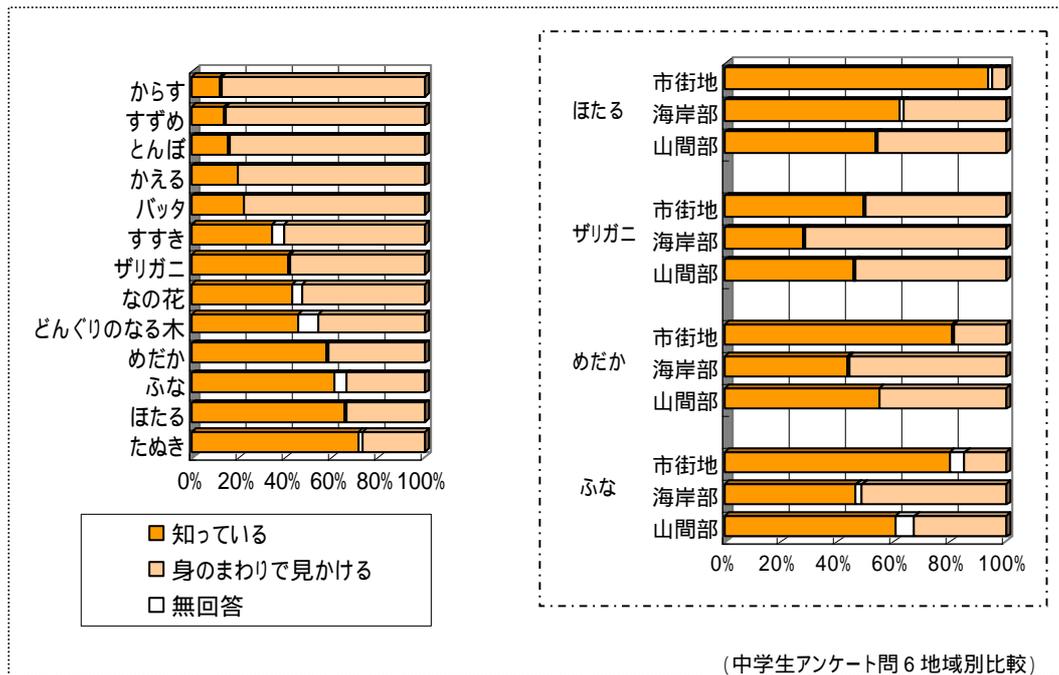


図3 「どのような動物・植物を知っていますか」についての回答と地域別比較

3. 周辺環境の評価

自然環境

「鳥や昆虫などの生き物をよく見かけますか」で、「はい」が70.5%と最も多くなりました。また、「山や土手、原っぱで遊ぶことができますか」「海や川などで魚とりや水遊びができますか」でも「はい」がそれぞれ44.0%、38.3%と比較的高い結果となりました。

それに対して、「身近な小川や水路の水はきれいですか」と「海や大きな川はきれいですか」で、「はい」と答えた中学生がそれぞれ8.8%、11.6%と低い結果となりました(図4参照)。

地域別にみると、海岸部の人は「海や大きな川」についての評価が他地域より厳しいという、市民や小学生アンケートと同様の結果となりました。この結果は、海やそこに流れ込む下流域の川が汚れていて、中学生がそれを普段感じているということの表れではないかと考えられます(図5参照)。

都市環境

都市環境に関する問いで、最も地域差が表れたのは、「図書館等の公共施設は利用しやすいですか」という項目でした。この項目では、市街地で「はい」が63.6%であったのに対し、山間部では36.4%、海岸部で8.8%と低い結果になりました(図5参照)。これは、図書館等の公共施設が、市街地に集中しているためと考えられます。

町並みについては、「まちなみはきれいですか」という問いで、「どちらともいえない」が多く65.1%で、「はい」は25.7%にとどまりました(図4参照)。「まちの中に緑が多いですか」という問いで、「はい」を選んだ中学生の割合を地域別に見ると、山間部で高く54.8%、次いで海岸部が47.4%でした。市街地は評価が最も低く37.3%でした(図5参照)。

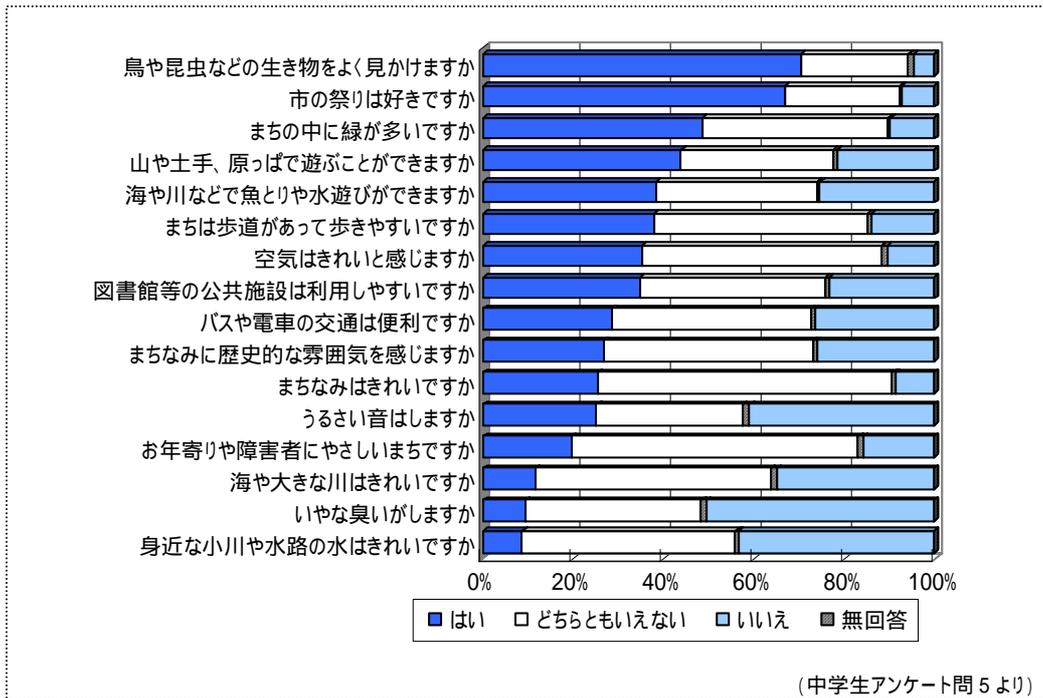


図4 周辺の環境について教えてください

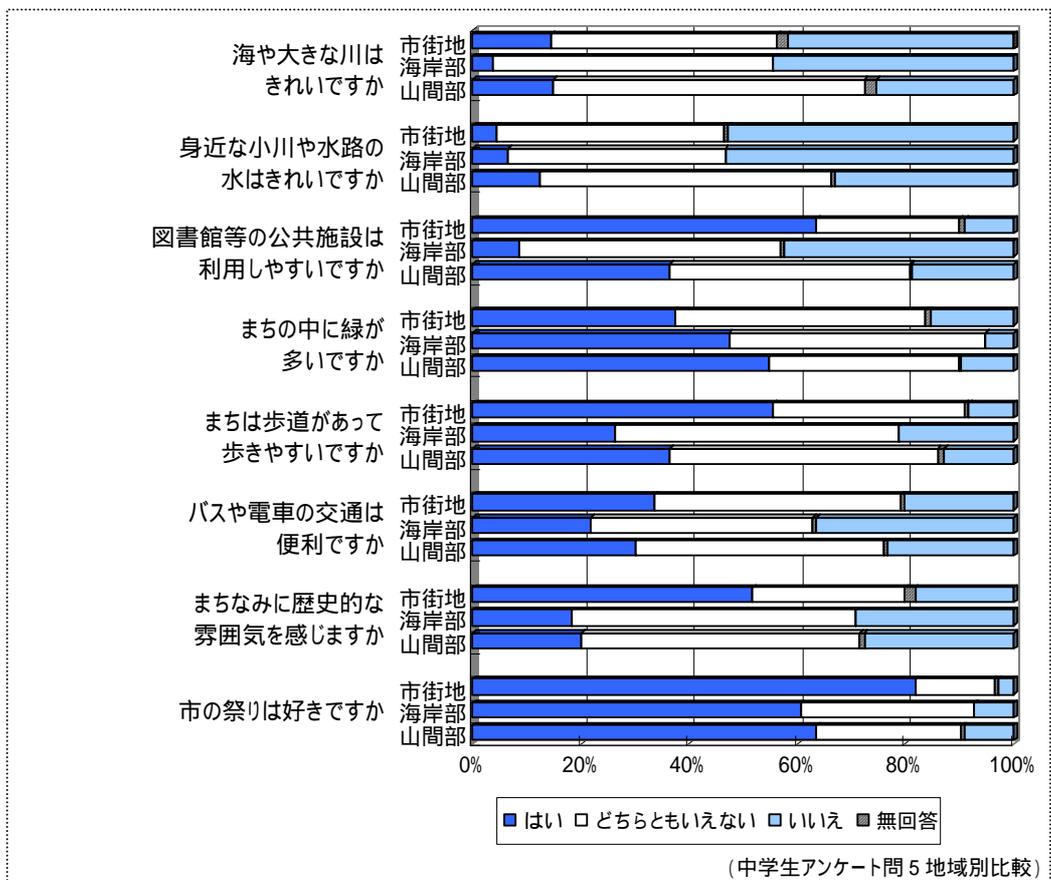


図5 周辺の環境についての地域別比較

「まちは歩道があって歩きやすいですか」では、市街地で最も高く 55.5%、次いで山間部が 36.4%でした。「バスや電車の交通は便利ですか」では、全体的に評価は低かったものの、市街地で「はい」が 33.6%と他地域と比べて高い結果となりました(図 5 参照)。これらの結果は、市民アンケートと同様の結果であり、大人にとっても子供にとっても、交通面での環境は、市街地は他地域より良好であるといえます。

「お年寄りや障害者にやさしいまちですか」という問いに対しては、「どちらともいえない」が 63.6%で最も多く、次いで「はい」が 19.6%、「いいえ」が 15.8%でした(図 4 参照)。

歴史・文化環境

「まちなみに歴史的な雰囲気を感じますか」で、「はい」と答えた中学生の割合が、市街地で 51.8%、山間部、海岸部では、それぞれ 20.2%、18.2%となり、市民アンケートと同様に、市街地の評価が高い結果となりました(図 5 参照)。

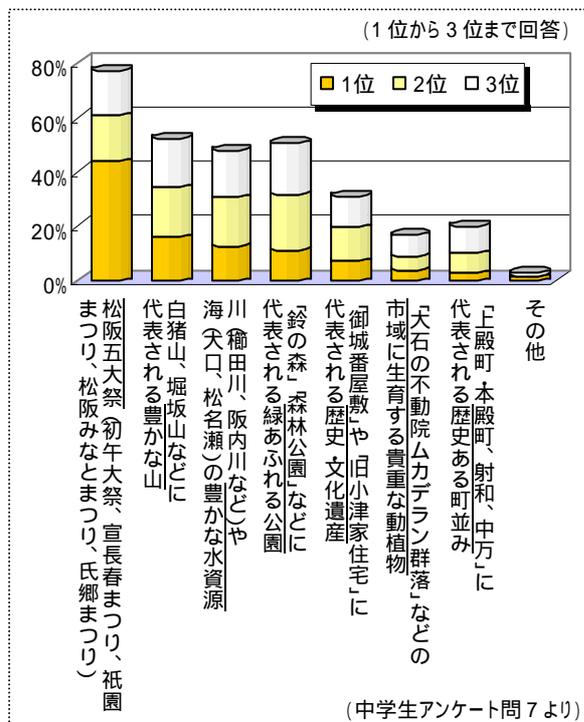


図 6 未来に残したい松阪市のよいところ

また、「市の祭は好きですか」という問いに対して、66.9%の中学生が「はい」と答えました(図 4 参照)。地域別に見ると、市街地では 81.8%が「はい」と答え、他の地域よりも高い結果となりました(図 5 参照)。

「未来に残したい松阪市のよいところ」については、全体の 43.8%の中学生が「松阪五大祭」を 1 位に挙げており、当市の祭りをとても気に入っている中学生が多いことがわかりました(図 6 参照)。

まとめ

当市の現在の中学生は、小学生と比べ、遊ぶ時間が少ないことがわかりました。これは、塾やクラブ活動が忙しいためではないかと考えられます。また、遊ぶ場所も、「学校や運動場」といった外での遊びよりも、「家の中」「デパート」「ショッピングセンター」など屋内での遊びが好きなようです。しかし、周辺の自然環境に関しては興味を持って観察しており、市民、小学生と同様に、現在の当市の水環境について厳しい評価をしています。

歴史・文化環境についても、町並みから歴史・文化的な雰囲気を感じるかどうかは、地域によって差があるように感じられます。また、祭りに関しては、全体として非常に興味を持っていることがわかりました。

キーワード

自然環境への興味

水環境

松阪五大祭

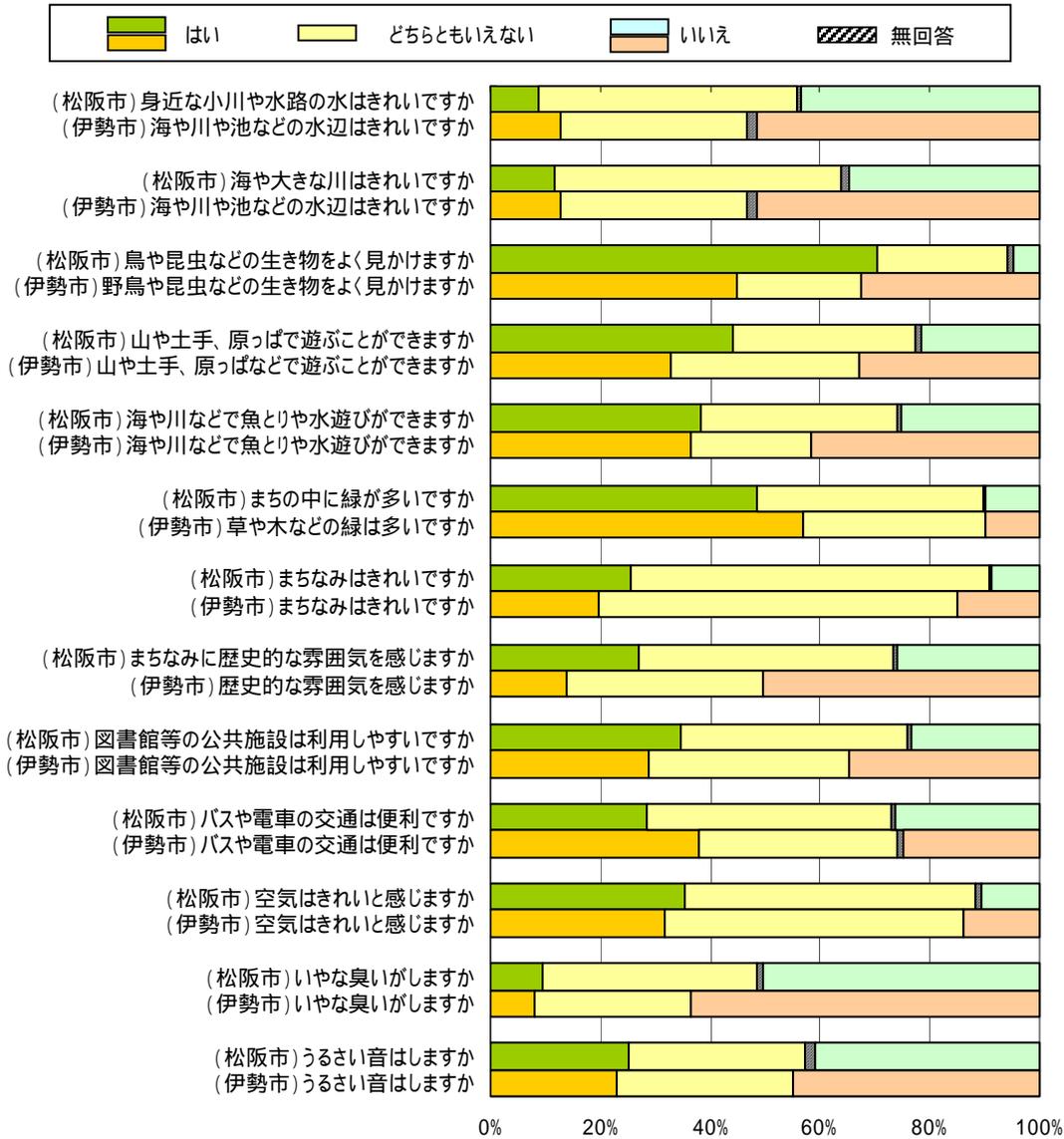
コラム1 周辺の環境に対する現状認識～伊勢市の中学生アンケート結果との比較～

周辺環境に対する現状認識について、伊勢市の環境基本計画策定に関する中学生意識調査と比較したところ、以下の特徴が表れました。

自然環境に対する評価が、伊勢市よりも高い結果となりました。

歴史的な雰囲気を感じている中学生が、伊勢市よりも多い結果となりました。

水環境に対する評価はともに低いが、本市の方が判断をしかねている中学生が多い結果となりました。



参考資料：伊勢市環境基本計画策定に関する中学生意識調査(平成11年3月実施中学2年生200人)
(松阪市中学生アンケート問5より)